

高垣由美

◎キーワード モバイル学習, 特定目的のためのフランス語

1 はじめに

『Le français diplomatique 外交フランス語』は、2013年5月に公開した iPhone 向けの独習用教材アプリケーション（以下略して「アプリ」）である。外交という専門分野に特化した、特定目的のためのフランス語を学ぶ点で特徴がある。こういった特殊な分野の教材は、商業ベースでは実現しがたく、ほとんど存在しない。しかし国際的な機関で働く日本人の増大が期待される中、少数でも需要はあると思われることから、iPhone アプリという形で開発し、Apple 社の App Store を通して無償で一般公開している。

iPhone の特性を考えて、簡単に始められ、一回のセッションはわずかな時間で、その間に達成感が得られ、一日に何回も使えるような形に設計した。

以下このアプリの紹介をする。

2 教材紹介

教材は全体で3章に分かれている。隙間時間での利用を想定して、すべての学習内容を、短時間で解ける問題形式で提示し、解説は一切つけていない。フランス語部分には、すべて録音音声をつけている。

既存のフランス語学習アプリのほとんどは、初級者だけを対象としているが、本教材は、初心者から上級者まで様々なレベルの学習者を対象としている。それは、外交フランス語を学べる機会が、ほとんど存在しないため、多様なレベルの潜在的学習者がおり、それらすべての要求にこたえる必要があると思われたからである。

2.1 第1章 国旗問題

各国に関するフランス語での情報を、国旗と結びつけて学習する問題である。まず Fig. 1 のような国旗の画像が、アトランダムに提示される。

国旗で表された国名とその国の情報は、次の Fig. 2 のようなページで提示される。



Fig. 1 国旗のページ



Fig. 2 国情報のページ

1行目が国旗で表された国名、2行目が正式な国名、3行目が国民名、4行目が首都名、5・6行目が国名の入った例文である。

本教材は、文脈から切り離された単語ではなく、文の提示を重視している。このこだわりは、用法に例外の多いフランス語の国名名詞に関しては特に有効である。Fig. 2 の例文を見ると、「Tonga (トンガ)」が例外的に複数扱いの国名であることがわかる。こういった用法は、語彙リストでは表現しにくく、文の中で初めてわかりやすい形で現れる。

例文には、一般フランス語にはない、外交フランス語の特徴が現れている。抽象名詞を多用する、格調の高い表現になっており、一般の使用頻度は低いですが、外交の場

で働く人間ならば知っておくべき語彙も使われている。

このような国旗と国情報は200ヶ国分あり、かなりの情報量である。アプリが提供している学習量が小さいと、ユーザは短時間ですべてをクリアしてしまい、アプリに飽きてしまうが、この情報量はそれを防ぐ効果がある。

2.2 第2章 聞き取り問題

英語検定試験のTOEICで採用されているのと同じ形式の、写真描写問題である。使用した写真のほとんどはフランス外務省提供の外交の現場写真であり、外交フランス語を使う場の雰囲気を伝え、学習意欲を高める効果がある。初級用、中級用、上級用の計50題を提供して



Fig. 3 聞き取り問題提示ページ

いる。

Fig. 3のような写真を見ながら、A, B, C, D 4つの文を聞き、その中から写真を最も適切に表している文の記号を選ぶ。記号選択式にしたのは、隙間時間を利用した学習を想定して、解答に時間をかけさせない配慮である。次のページでは、正解が赤字で表示されている。



Fig. 4 聞き取り問題正解ページ

(Fig. 4では薄く印刷されているD。)

2.3 第3章 文法・語彙問題

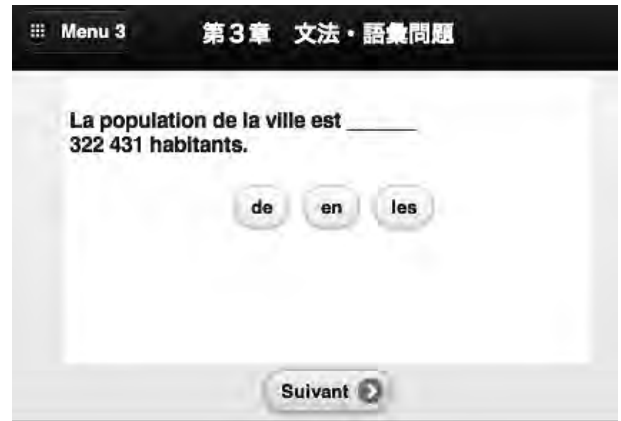


Fig. 5 文法・語彙問題設問ページ

文法・語彙習得のための穴埋め問題を、初級用、中級用、上級用に分けて計101題提供している。

Fig. 5のような設問ページで、空欄の下線部に、3つの選択肢のうちのいずれかを入れて文を完成させる。シンプルさを追求するために、解答には文字を入力する方



Fig. 6 文法・語彙問題正解ページ

式はとっていない。Fig. 6のように、正解ページで初めて日本語訳が示される。

この章の問題の多くは、文法の難易度だけを考えると、初心者でも簡単に解ける。しかし問題文で使用されている語彙は、一般フランス語では使われる頻度の低い上級レベルの語もかなり出現している。また文体もくだけた表現は一切なく、公的な場にふさわしい格調の高い表現が出てくる。これらの点で、外交フランス語の特徴が現れている。

最後に、語学教材特有のプログラミング上の留意点を

述べる。Fig. 5 と Fig. 6 では改行部分が異なっているが、これはフランス語の改行の規則を尊重したためである。「322,431 人」と表現する時に、フランス語では数字の途中や、数字とそれに続く単位（ここでは「人」を表す「habitants」という語）の間では改行しない。このような言語表示の規則は、制作者がプログラミング業者に指示を与えるべき所である。英語以外の外国語の場合には、その言語特有の表示の仕方があることを、業者が知らない場合がほとんどである。実際、既存の教材の中には、行送りの規則どころか、基本的なハイフネーションの規則も守られていないものさえあるが、それは語学教材としては望ましいことではない。

以上が教材の内容である。

3 結びにかえて

外交フランス語といった専門分野の（英語以外の）語学教材は、商業ベースでは実現しがたく、現在ほとんど存在しない。しかし本教材のように、iPhone アプリという形にすることで、少数の需要しかない分野の教材も、広く一般に公開することが可能となった。この点で、本教材の公開は、広くフランス語の振興に役立つという効果が期待される。

なお、本教材は、初心者から上級者まで様々なレベルの学習者を対象としている。第1章や第3章の例文は、和訳、仏作文、ディクテーションの練習として使う工夫をすれば、中級から上級の学習者も使用できるが、その

ような活動は利用者に任されており、アプリではそれが実現されていない。この点は、今後のアプリの改善の重要ポイントとしたい。

謝辞

本教材の開発には、平成 21 年度科学技術融合財団 (FOST) 調査研究助成、平成 21 年度と 24 年度日本学術振興会科学研究費基盤研究 C (課題番号 21520446, 24520476) の助成を受けている。

参考文献

- 有田隆也：「ドイツボードゲームの教育利用の試み—考えるよりこびを知り生きる力に結びつける—」, 『Computer & Education』, 31 巻, 2011 年 12 月, pp.34-39.
- 飯嶋香織：「文系大学生の携帯電話と PC 利用とデジタルデバイスとの関係に関する調査研究」, 『2012PC Conference 論文集』, 2012 年 7 月, pp.367-368.
- 尾崎志津子：「iPad を活用したオンライン英語多読の導入—名古屋文理大学メディア学科における事例—」, 『Computer & Education』, 32 巻, 2012 年 6 月, pp.49-52.
- 加藤映子：「語学教育とゲーム」, 『Computer & Education』, 31 巻, 2011 年 12 月, pp.28-33.
- 金義鎮, 鈴木康洋, 金恵鎮：「タブレット PC を用いた基礎韓国語の電子教科書の実践活用に関する考察」, 『Computer & Education』, 33 巻, 2012 年 12 月, pp.92-97.

2013. 8. 26 受理 2013. 10. 2 掲載決定

著者略歴

高垣由美 (たかがき ゆみ)

◎現在の所属：大阪府立大学人間社会学研究科

◎専門分野：言語学, フランス語学, フランス語教育

◎主な著書：De la rhétorique contrastive à la linguistique textuelle : l'organisation textuelle du français et du japonais (2011 年, 大阪公立大学共同出版会)